

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 福山港 港湾海岸保全施設耐震性能評価業務委託（野々浜地区）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 港湾 地震・耐震

ボーリング名	BorNo. 1	調査位置	広島県福山市大門町5丁目13-10地先	北緯	34° 29' 9.367"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	2023年 2月 6日 ~ 2023年 2月 15日	東経	133° 26' 41.330"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ ン 定 者		ボーリング責任者			
孔口標高	C. D. L. 1.51m	角	180° ↑ 90° ↓ 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 90° 南 180°
地盤勾配		水平0°		鉛直90°	
使用機種	試錐機 東邦D1-B	エンジン	ヤンマー-NFD12	ポンプ	東邦BG-3C
総削孔長	10.00m				

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取	室内位置試験	削孔月日	
												深度-N値図		N	深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量
1			玉石	玉石		灰 暗灰				被覆石及び捨石。 コア長150~250mmの玉石。 最大コア長350mm。		0	0	0	0	0	0	0			2/10
2	-0.69	2.20	砂質シルト	砂質シルト		暗灰				不均質。含水中位。粘性中位。 砂分が混入する。 貝殻片が少量混入する。		0	0	0	0	0	0			2/13	
3	-1.49	3.00	鐵混じりシルト ト質砂	鐵混じりシルト ト質砂		暗灰				細砂~粗砂主体。下部につれ砂分増える。 細粒分が少量に混入する。 φ5~20mm程度の礫が混入する。貝殻が 時々に入る。		3	3.15	1	1	1	3	500	SI-1	① 密度・含水・孔隙率・液性・塑性・収縮率・液率性 ② 密度・含水・孔隙率・液率性 ③ 密度・含水・孔隙率・液率性	2/14
4	-1.99	3.50	鐵混じり砂質シルト	鐵混じり砂質シルト		暗青灰				φ50mm~100mm程度の玉石が点在する。 中位の礫さ。砂は中砂主体で全体に入る。 礫はφ2~5mm主体。		9	3.45	4	6	5	15	500	SI-1		
5	-2.99	4.50	強風化流紋岩	強風化流紋岩		暗黄灰				岩相不均質 岩心まで強風化している。 コアは棒状を呈する。 岩質はもろく指圧で容易に砕ける。 岩質区分はDII級相当。		15	4.65	4	7	5	16	300			
6												16	5.45	4	7	5	16	300			
7	-5.49	7.00	風化流紋岩	風化流紋岩		暗黄灰				岩相不均質。 岩心まで風化している。 コアは棒状を呈する。 岩質はもろくハンマーで容易に砕ける。 岩質区分はDII級相当。		23	6.15	5	7	11	23	300			
8												63	7.30	8	21	21	50	240			
9												71	8.15	13	25	12	50	210			
10	-8.94	10.45										75	9.15	23	27	10	50	200			
11												50	10.15	9	12	29	50	300			
													50	10.45				300			2/15